

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年6月10日

No.11

校長 坂野修一

あいさつのできる学校を目指して

オアシス運動を活発に…



朝ドラ『なつぞら』を楽しみにしています。スピッツが歌う主題歌「優しいあの子」もとても大好きです。『なつぞら』はいいのですが『梅雨空』は嫌ですね。鬱陶しい季節を迎えましたが、奇跡的に8日(土)は好天に恵まれました。多くの保護者の皆様のご参加をいただき、プール清掃に除草、親睦グラウンドゴルフと、一連の行事を滞りなく終えることができました。おかげさまで、プールもきれいになり、校庭の緑の部分がだいぶ減りました。本当にありがとうございました。予定では17日(月)がプール開きとなります。それにあわせて、今週14日(金)には救急法講習会やプール管理説明会がありますが、是非積極的なご参加をお願いいたします。

さて、私は毎朝、スクールバスを降りてくる子どもたちを玄関先で迎えています。「あいさつ」を交わしながら子どもたちに声をかけ、誕生日を迎える子どもがいたら、「〇〇ちゃんおめでとう」の声を忘れないようにしています。そんなやり取りの中で、「今日は元気がないなあ？どうしたんだろう？」と心配したり、逆に、「校長先生おはようございます」の元気な声に、私が元気をもらったりしています。その「あいさつ」について考えてみます。

まさに、あいさつは全てのコミュニケーションの基本です。朝起きたら家族に「おはようございます」、朝食を前に「いただきます」、家を出る時に「行ってきます」のあいさつがかわされます。次に、登校中に友達やご近所の方と会ったら「おはようございます」ですし、スクールバス乗車時に運転手に「おはようございます、お願いします」です。ですから、私へのあいさつは、朝起きてから何回目のあいさつになるのでしょうか？このように考えると、あいさつは、家庭や学校ばかりでなく、地域の方も含めた全ての人で育てていく大切なものなのでしょうね。子どもがあいさつをできるようにしていくのは、大人(教師や保護者)が率先してあいさつをすることです。学校では教職員があいさつを進んで行っていきます。あいさつがしっかりできる子は、やはり学習や生活習慣全般においても立派に頑張れる子が多いです。ご家庭でも朝起きて来た子どもと顔を合わせたら、「おはよう！今日も一日頑張ろう！」と、保護者から先に声を掛け続けていただけたら有り難いです。

オアシス運動という取り組みがあります。それぞれの頭文字をとった運動です。

おはようと明るくあいさつ、**あ**りがとうを心から、**し**んせつをみんなに、**す**みませんを素直に

「おは失礼します」という運動も見聞しますが、私は「親切をみんなに」の方が気に入っています。「おはよう」などのあいさつはもちろんのこと、「ありがとう」「親切」「すみません」であふれる学校であつたらいいですね。早川南小学校がそんな学校であるよう、子どもたちに声かけ、見守り、そして育てていきたいと思えます。



今年度は、来年度から小学校で使われる教科書図書の採択年となっています。その教科書の展示会が14日(金)から7月3日(水)まで南巨摩合同庁舎で行われます。教科によって差異がありますが、実に多くの会社が教科書を発行しているんですよ。鵜沢方面に用事がありましたら、そのついでに立ち寄られたらいかがでしょうか？詳しくは、本日配布されました薄緑色のチラシをご覧ください。